

表2 「DMARC」を導入していない8県に、導入予定などを聞いた

質問①	偽メール対策に有効な「SPF」「DMARC」を知っているか
質問②	防災メールが迷惑メールに仕分けされ住民の一部に届かなかった事実をどう受け止めるか
質問③	DMARCを導入していないのはなぜか。いつ導入するか

自治体	担当課	回答
青森県	行政経営課	①はい ②③今後の対応を含め調査検討中
兵庫県	情報企画課 システム 管理室	①はい。SPFは導入 ②災害時に不達・遅延が発生したシステム障害事例として認識 ③DMARCは2021年度のセキュリティクラウドの更新に合わせて導入検討中
山口県	情報企画課	①はい ②事実関係の詳細がわからないため回答はなし ③県民への的確な情報伝達に取り組む
香川県	情報政策課	①はい。SPFのみ導入 ②事件の詳細を把握していないのでコメントはなし。災害情報を迅速かつ的確に県民に伝達できる多様な情報伝達手段で配信している。避難勧告など緊急情報は回線混雑の影響を受けない緊急情報メールを活用、この配信が滞った情報は把握していない ③DMARCは早期の導入を検討している
徳島県	とくしま ゼロ作戦課	①はい。SPFのみ導入 ②これまでの配信で事例のような不具合はない(内閣府や消防庁など、国からの助言、提案はなく各自治体ごとで対応している) ③専門家の意見を聞きながら必要な対応を検討していく
回答なしの自治体 (担当課)		石川県 (情報システム 部)                      高知県 (総務部情報政策 課)                      鳥取県 (情報政策課)

(注) 2020年11月16日時点 (出所) 編集部による各自治体へのアンケート調査